

JB Customer Report

RISOGRAPH MF635

当社で実際に機械をご導入いただいたお客様の
「生の声」をご紹介いたします！ 取材：営業部 営業企画推進課

ふきのとう 様

ふきのとう 遠山信子様に2021年4月に導入したMF635についてお話を伺いました。

「MF635を選んだ理由」

私たちふきのとうでは、子育て支援の活動をしています。絵本の読み聞かせや困っている子供たちの支援、子育てに悩んでいる保護者の相談所として地域に貢献しています。その活動以外に、依頼を受けているチラシの発行から新聞店への持ち込みまで一連の流れを行っています。その為、納期が決まっているチラシ作成にはリソグラフのスピード感はとても重要で、欠かせないものとなっています。依頼を受けているチラシの中には、日本共産党恵那市委員会のチラシなどがあり、このチラシは定期的に作成をしています。10年前からチラシの作成にリソグラフを使用しており、当時はモノクロでチラシを作成していましたが、新聞折り込みで2色・カラーのチラシをよく見かけるようになったことをきっかけに、2色機を導入しました。目を引く2色でのチラシを作成するようになってからは、作成する側はもちろんのこと、読み手も見やすくなつて興味を持ってもらえているという声も耳にすることがありうれしく思っています。今は、「どくしゃニュース」という両面のおたよりを毎週1000部以上2色で刷って新聞折り込みをしています。その他には、B4サイズで議会報告のおたよりを2色印刷で年に4回発行しており、1回に5000～8000部程の印刷があります。また、社会運動の一つとして作成しているチラシがあり、多い時には1日に2000枚の印刷作業を行います。読んでいただく方に、より思いが届くように伝えたい内容によってはモノクロにしたり2色にしたりとこだわりを持って使い分けています。

「リソグラフの魅力」

2色（黒・赤）だけでなく青色も使用したいという思いもありましたが、追加でドラムが必要な為、金額的に断念しました。しかし、リソグラフをやめてコピー機にとはならなかったです。その理由の一つとしてあるのは、やはりコストです。たくさんチラシを印刷するので、同じ原稿で多枚数刷れば刷るほどコストの下がるリソグラフは、とても魅力的でした。更に魅力に感じているのは、スピードももちろんですが、リソグラフならではの味ですね！原稿を作る時に目を引くように写真を入れたり、挿絵を入れたりしていますが、それが2色だとどう表現されるかも想像しながら配置を考えています。こだわって入れているグラデーションも上手く表現できるのは、この機械だからだと思っていますし、そうして完成したチラシを見た時に、疑似カラーならではの印刷の温かみが表現できていて、やっぱりMF635にしてよかったですと実感しています。

「次の挑戦」

今はチラシやお便りなどの印刷のみでそれ以外の印刷を試したことがないですね。近くちょうど封筒を使用する予定があるのでできるならやってみたいですね。今まで外注に出すという概念がなく私達ができるものを作成してきました。中に入れる写真も自分で撮ったものを入れるなど、私達の手で伝えたいものを作ることをモットーにして活動をしていますので、MF635をここまで使いこなせられるようになったら、他の機械ではもう代わりがきかないですね。



営業担当者の声

2色機ならではの擬似カラーやワンポイントカラーをうまく利用しながらチラシの作成をされていることをお聞きし、改めて導入ができたことを嬉しく思っています。



担当営業：三宅 優佑

単色機とは違った表現となる為、読む方の興味を引くおたよりを届けることができ、今まで以上に読者に思いが伝わるようになったのではないかでしょうか。今後もお客様の期待以上の印刷が実現できるようサポートを行って参ります。